

関西電力黒部第四発電所建設用 25t 積 インクライン台車完成

関西電力株式会社から受注した 25t 積インクライン台車 2 両は、このほど日立製作所笠戸工場において完成、解体のうえ富山県の現地へ発送した。

これは地下発電所建設資材の運搬用に使用するもので、完全地下式でしかも人員輸送にも使用するインクライン台車としてはわが国最初のものである。

黒部川は中部山岳国立公園に端を発し、風光明媚な黒部渓谷をなしている。ここに建設する黒部川第 4 発電所は風景を害さないように完全地下式とすることになったため、このインクライン台車を使用して建設用資材および機器の搬入ならびに建設後の人員輸送にあてることとした。

このインクライン台車の特長は次のとおりである。

- (1) 積載する貨物の寸法形状およびその性状に応じて台車の構造を傾斜甲板と水平甲板（傾斜甲板の上に着脱するもの）を使い分けるようになっている。
- (2) 積載荷重 25t（このときの車両総重量は 40t とする）はインクライン台車としてはわが国における記録的製品である。

(3) 軌道のこう配 34 度、全長 900m の直線の完全地下式であること、ならびに人員輸送にも使用するインクラインとしてはわが国最初である。

(4) 台車の非常ブレーキ（ロープ切断時、過速時に自動的に作用し、乗務員の足ふみペダルによっても作用する）は最大荷重時にも安全に停止しうるようわが国最初の、パネ圧式と重力式の組合せによる二段作用ブレーキ方式を採用した。

(5) 車両内の発車ボタン操作によって、巻上機の起動停止を自動的に行う自動運転方式を採用したこと。

これはインクライン台車およびケーブルカーでは最初の試みである。

この車両の主要寸法は台車全長が 10m、傾斜台甲板の長さ 6.5 m、幅 3.6 m、その上にある水平台甲板の長さ 5 m である。

運転速度は 40m/min で、貨物輸送時 25 t、人員輸送時 25 人と貨物 2 t を積める構造としてある。

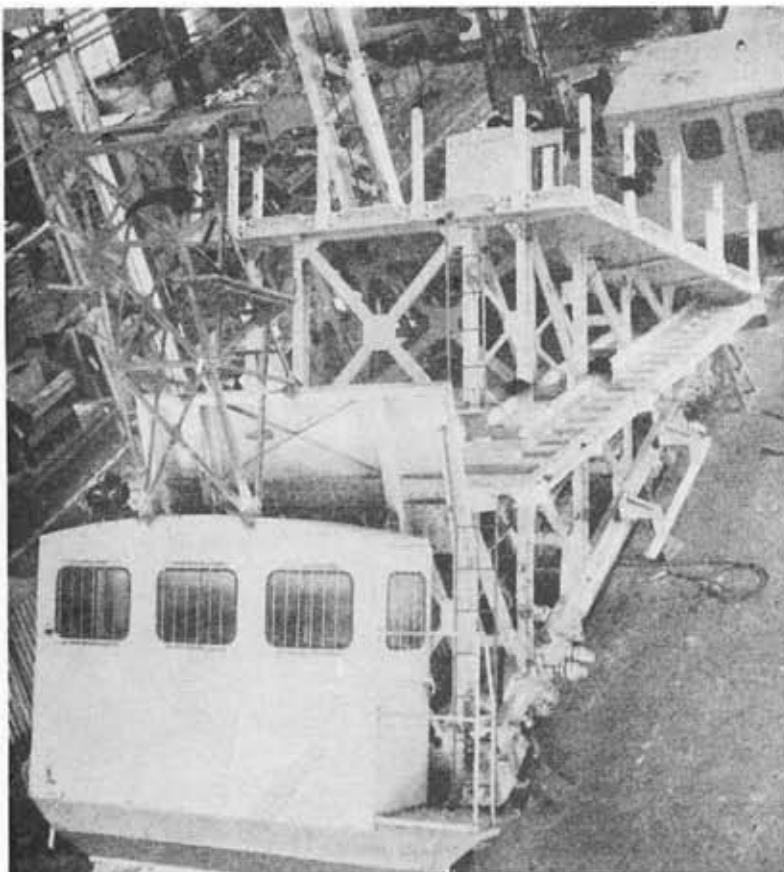
2 バンド 9 石 オールウェーブ “ベギー” WH-901 発売

さきに超高感度を誇る 8 石ポケットラジオ“マリー” TH-862 を発売した日立製作所では、このたび続いてポータブルラジオのデラックス版として、高 1 付 2 バンド 9 石オールウェーブ“ベギー” WH-901 を発売した。

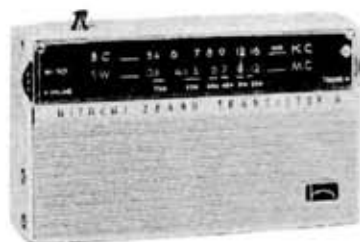
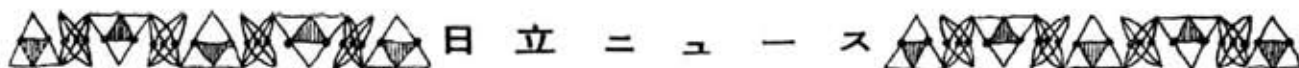
このセットは日立ドリフトトランジスタ 3 石を含む、9 石の使用によって、いちだんと高性能化されているもので、これからの山登りやリクリエーションの最盛期に向い、どこへ持って行ってもすばらしい感度で美しい音色が豊富に楽しめるという、最高級セットである。

回路構成は高周波増幅に“H J 70”を、局部発振に“H J 71”を周波数混合に“H J 72”のそれぞれドリフトトランジスタを使ったセパレートコンバータ方式、さらに中間周波 2 段、低周波増幅 3 段による 9 石スーパーヘテロダイナミック方式になっている。

スピーカーは 8 センチの強力 PM 形を使用、日立ゲルマニウムダイオード 2 個使用の二重自動音量調節回路、日立バリスタ使用の自動動作安定回路を備えておりそのほか音質切換装置、微動式の横行ダイヤル、11 段伸縮ロッドアンテナと補助アンテナもつき、文字どおり、感度、音質、デザインともに最高を誇る“デラッ



第 6 図 25t 積 インクライン台車



第7図 2バンド9石オールウェーブ
“ベギー” WH-901

クス版”である。

価格は現金正価 14,500 円, 月賦正価 15,600 円(12カ月)
でいずれも高級皮ケース, イヤホン1個つきである。

規 格

形 名.....	“ベギー” WH-901
回路方式.....	高1付2バンド9石スーパー ヘテロダイソ
受信周波数帯.....	標準放送(BC) 535~1,605kC 短波放送(SW) 3.8~12 MC
中間周波数.....	455kC

使用石.....	HJ 70.....高周波増幅 (日立トランジスタ) HJ 71.....局部発振 HJ 72.....周波数混合
2N218.....	中間周波増幅第1段
2N218.....	中間周波増幅第2段
2N215.....	低周波増幅第1段
2N215.....	低周波増幅第2段
2N217.....	電力増幅(B級プ ッシュプル結合)
2N217.....	
(日立ケルマムダイオード)	1N34A.....検波自動音量調節
(日立バリスタ)	HV15.....温度および電圧
出力.....	150 mW (無ひずみ) 200 mW (最大)
電 源.....	6 V (単2号または特単2号 乾電池4個)
スピーカ.....	8センチパーマネントダイナミック形
イヤホンソケット.....	2個(EL-213 日立マグネチ ックイヤホンおよび日立ホ ームスピーカ使用)
アンテナ.....	フェライトアンテナ自蔵 11段伸縮ロッドアンテナ付 補助アンテナ線付属
寸 法...幅	190mm
重 量.....	高さ112mm 奥行49mm 1.1 kg(電池とも)

編集後記

電源開発の進展にともない超高
圧送電線の建設, 一次変電所の整
備拡充が着々と進められている。

これら超高圧送電系統の受電端変電所における設置機器
は必然的に大容量化の傾向にあり同期調相機もその例に
もれず飛躍的大容量のものが製作されている。電源開発
株式会社南川越変電所にこのほど設置された80,000kVA
水素冷却同期調相機はその代表的なもので, 容量がわが
国最大であるばかりでなく, 斬新な設計を採用した点に
おいても画期的であり注目を浴びている。

本号巻頭の同機に関する論文は, その特長, 構造, 性
能および制御方式の概要についての報告で, 今後の大容
量同期調相機の発展に貢献するところまことに大なるも
のがあるといえよう。

◎

都心の大規模なビルディングにおける朝夕の出退勤時
の混雑は, はなはだ激しいものがあり, 従来は並列したエレ
ベータをそれぞれ特定階行きに分け, 案内者のサービ
スによって急行運転を行っていた。最近ではさらに輸送
能力の強化ならびに待ち時間の短縮が要望されるよう
になり, これにこたえてこのほど自動的にラッシュの状態
の変化を検出して, 絶えず有機的に作動する全自動群管
理方式が開発された。その詳細を紹介した「エレベータ
の全自動群管理方式」は, 今後のビルディングにおける

人員輸送力の強化の問題の解決に貴重な資料となるであ
らう。

◎

自動車の冷房装置は, 一般建築物用の冷房装置と比較
して, 冷却すべき車内が非常にせまい割に取容人員が多
いこと, 太陽および路面の輻射熱・外気およびエンジン
ルームよりの伝達熱が侵入するため冷房負荷が大きいこ
と, 自動車の走行速度に無関係でかつ軽量であること,
などの点から設計製作上に種々の問題がのこされている。
「自動車冷房の研究」は, 普通形乗用車に取り付けた
試作機について冷房試験および自動車の性能試験を行っ
た貴重な研究成果の発表で, 今後の国産車冷房装置の設
計に一大指針を与えるものと信ずる。

◎

一家一言欄には富士製鉄株式会社常務取締役平世将一
氏より「製鉄機械メーカーに望む」と題する玉稿をいた
だくことができた。本文は, 国産機械の進歩発達はメー
カーの不断の努力はもちろんであるが, さらにユーザー
の深い理解と緊密なる連繫が必要であると説かれたもの
で, 斯界発達のため植聴すべき至言である。
御多用中にもかかわらず本誌のためわざわざ筆をとっ
ていただいた御好意に対し, 誌上をかり心から感謝の意
を表する次第である。

日立評論 第41巻 第9号

昭和34年9月20日印刷 昭和34年9月25日発行

(毎月1回25日発行)

< 禁 無 断 転 載 >

定 価 1 部 100 円 (送料 12 円)

© 1959 by Hitachi Hyoronsha

編集兼発行人
印刷人
印刷所
発行所

長 谷 川 俊 雄
浅 野 浩
株式会社日立印刷所
日立評論社

東京都千代田区丸ノ内1丁目4番地
電話 千代田 (27) 0111, 0211, 0311
振替口座 東京 71824番

取次店

株式会社 オーム社書店
東京都千代田区神田錦町3丁目1番地
振替口座 東京 20018番

広告取扱店 広 和 堂 東京都中央区銀座西八ノ三小鍛冶ビル五階一号 電話銀座 (57) 6836 番